※記載例を参照の上、ご記入ください。

（様式第3号）

企業・団体名（　　長野信用金庫　　）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			・就業規則、コンプライアンス・マニュアル等に人格を尊重することを明記し、勉強会等を行っている他、相談窓口も設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			・セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント等、ハラスメント行為の禁止を就業規則に明記し、表彰懲戒規程において懲戒処分対象行為としている。また、防止の周知徹底を継続的に行い、相談窓口も設けている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			・時間外労働の削減に向け、業務の見直しを継続的に行い、時間管理を徹底している。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			・現在、外国人労働者はいないが、就業者各人の人格を尊重するよう就業規則に明記している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・バイクの運転技能向上に向け、毎年講習会を実施し事故防止を図っている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			・ストレスチェックの適正な運用に努めている。 ・上長との面談制度、また、産業カウンセラーを活用し、メンタル不調者への早期対応により重篤化を防止するとともに、長期療養者の早期復職を図っている。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・女性活躍推進法に基づく行動計画を作成し、女性の活躍を図っている。 ・障害者の雇用促進、定年後再雇用者の職域拡充を図っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を踏まえ、同一労働同一賃金の原則に沿った対応をしている。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済み。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・職員の健康増進を図っており、健康経営優良法人2025（大規模法人部門）の認定を受けている。 ・「健康経営宣言」をホームページに掲載済み。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			・廃棄物の分別を徹底している。本部は排出量を記録している。 ・機密書類については焼却ではなく溶解リサイクルを利用することで廃棄物を削減している。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			・全店のエネルギー使用量、CO_2排出量の把握に取り組んでいる。							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			・全店のCO_2排出量削減に取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			・PCBの処分は完了しており、有害物質の保管、使用はない。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			・環境に配慮した事業活動に取り組んでおり、生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。						6.6									15		
16		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			・資源の再利用については、資源ごみについて分別回収し、リサイクルに取り組んでいる。 ・機密書類は溶解リサイクル工場に持ち込んでいる。												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・自己所有している水源を含め、使用量を把握し、削減に取り組んでいる。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）			・ISO14001認証を令和3年3月末に返上、その後も環境に配慮した活動を継続している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			・ディスクロージャー誌、HP等で環境に対する取り組みを掲載し、開示している。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・本部敷地内においては、再生可能エネルギーである地下水熱を利用した冷暖房システムと太陽熱を利用した給湯システムを稼働させている。 ・営業店1店舗で太陽光発電システムが稼働している。							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・本部、営業部で使用する電力はすべて森林バイオマス発電により作られた電力を調達している。また、地下水熱利用システムも構築し持続的利用を行っている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			・「接待・贈答に関する規程」により、社会からの疑惑・不信を招く一切の行為を排除している。接待・贈答を行う場合は「接待・贈答報告書」による報告と承認を受けている。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			・各種規程、要領、マニュアル等を通じて、周知徹底を図っている。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			・商標権の取得及び管理を適切に行っている。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			・個人情報取扱事業者として「個人情報保護宣言」を定め、「個人情報保護方針（プライバシーポリシー）」、「個人情報の保護と利用に関する取扱要領」等に基づき、個人情報を管理している。また、四半期毎に個人情報取扱状況を点検し、適切に管理を行っている。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って**<u>いないこと</u>**を確認している	チャレンジ （任意）			・業務形態上、紛争鉱物の取り扱いは生じない。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・各種規程、要領、マニュアルの制定や外部講師による研修などを通じて、ハラスメント等のない職場づくりへの啓蒙・教育に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）			・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。			3					8	9	10							17

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・商品、サービスの開発時は、お客さま目線を第一に検討している。 ・商品内容の理解を促すために概要説明書を作成している。			3.9									12.4					
30	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・随時、お客さまから意見や要望を汲み上げ、金庫内にて公表し、商品・サービスの開発、改善に努めている。									9								
31	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・エコ配慮型通帳（カーボンオフセット通帳）を取り扱っている。 ・環境配慮型住宅への金利優遇制度を設定している。（住宅ローン、リフォームローン） ・奨励品の脱プラスチックへの取り組みを実施している。（紙製証書ケースの使用、プラ袋の廃止等） ・再生可能エネルギー設備資金や省エネルギー設備資金に対応する「しんきんゼロカーボンサポート資金」を取り扱っている。						6							12	13	14	15		
32	製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・後見制度における被後見人の財産保護を目的として「後見制度支援預金」を取り扱っている。 ・長野信用金庫と北信全15市町村で構成する「北信まちづくりプラットフォーム」が、連絡会議等で情報共有や意見交換をしながら北信地区の喫緊の課題解決に向けて連携事業に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			・会員組織の金融機関として、会員の代表たる総代とのコミュニケーション重視による対話に努めている。 ・地域企業への経営指導や本業支援を励行し、与える影響についてモニタリングしている。また、毎月、景況アンケートを実施し経済動向を把握している。				4					9		11	12		14	15		17
34	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・地域の未来を担う学校・団体等を支援し、魅力ある地域づくりを目的として寄贈型私募債を取り扱っている。 ・県内6信金で「交通安全黄色いハンカチ」を共同調製し、北信の小学校・特別支援学校の入学児童に贈呈している。 ・6月と9月に全店クリーン運動として路上清掃を実施している。また、6月15日の「信用金庫の日」前後に募金活動、献血を実施している。 ・古切手、ボトルキャップを集めて寄贈している。				4							11			14	15		17
35	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）			・本部、本店の電力はすべて地場の森林バイオマス発電により作られた電力を使用している。 ・長野しんきんビジネスフェアにて地産地消・地産外商を促進するための商談支援を実施している。								8	9		11	12	13				
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 （必須）			・経営計画書、コンプライアンス・マニュアルや経営陣との直接対話等を通じて、周知徹底をしている。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			・「コンプライアンス基本方針」を定め、「コンプライアンス・マニュアル」に掲載し、従業者等に対して法令等の遵守について周知を図っている。 ・各部店でコンプライアンス研修を毎月1回実施している。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			・「本部職務権限規程」で当金庫の本部各職位の職務権限を明確にし、組織の合理化を図り、業務の組織的かつ能率的な運営に資することを定めている。																16	

39	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			・外郭団体等のステークホルダーと適宜意見交換をを行い、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切な対応を行っている。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）			・リスクに関する基本方針及び管理規程を定め、統括的なリスク管理部署を設置し態勢整備を進めている。また、リスク区分ごとに部会を設置し、リスクの把握・管理状況を確認している。																16	
41		【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			「長野信用金庫行動憲章」の中で、「信用金庫の社会的責任と公共的使命」を定めている。また、「コンプライアンス・マニュアル」の冒頭において、CSRの観点を踏まえつつ、コンプライアンスを実践することを定めている。																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）			・BCP（業務継続計画）を作成し、危機発生時の対応手順の習熟・確認のため、毎年定期的に訓練を実施している。								9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			・「当金庫のビジョン」実現を目指すことにより、持続可能なビジネスモデルの構築に努めている。							8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定